

洛東ブロックの皆様へ

ミサや集会祭儀の再開にあたって

十 主の平安

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、京都教区では3月1日の四旬節第1主日のミサを最後に、公開でのミサを休止しておりましたが、緊急事態宣言も解除された今は、各ブロックごとにミサ再開が模索されております。洛東ブロックでは、京都府内での感染状況が再悪化しないことを前提に、6月21日（河原町教会は6月20日）の年間第12主日よりミサ（または集会祭儀、以下同じ）を再開いたします。

一つの食卓に集い、主の死と復活を告げ知らせる教会の姿が再び実現する、この恵みの時を与えてくださった主に感謝いたします。また、役員の方々はじめミサ中止が続く困難な時期の教会を支え、再開へ向けての準備にご尽力くださった皆様、そして長期にわたり祈りと忍耐のうちに自粛に協力してくださいました皆様に心より感謝申し上げます。

一方で、感染の危険はいまだに高く、第二波、第三波が危惧される状況は変化しておりません。ミサや教会活動の再開に際しましては、感染防止のために、おひとりおひとりの細心の注意と協力が求められております。特に以下の点をあらためてお置きください。

- ①京都教区では当面ミサの義務は免除され続けます。ミサへの出席は慎重にご判断ください。感染の心配等、お気持ちに不安を抱かれている方も、ご躊躇なくお休みください。
- ②各教会の収容人員はこれまでの半分以下となっており入場制限を実施せざるを得ない状況です。各教会とも平日にも主日ミサを実施しますので、分散にご協力ください。
- ③時間的・空間的な密集回避のため、典礼でもあらゆる簡潔化が図られます。ご理解ご協力をお願いいたします。かつてのようなミサはできませんが、その記念と恵みは不変です。その他、社会と命を守るため、「[カトリック京都司教区 ミサ等、集会を行うときの守るべき要件](#)」（5月16日付教区文書）をご理解ご実践いただけますようお願い申し上げます。

「ウィズコロナ」という新しい時代が語りかける時の声を聞き分け、いつくしみ深い主への深い信頼のうちに歩んでいきますように共に祈りいたしましょう。

2020年6月16日

洛東ブロック司牧者チーム
瀧野正三郎
菅原友明
ロサ・チェリヤン